

## 平成 28 年度国立市総合防災訓練概要

日時：平成 28 年 8 月 28 日（日）  
午前 8 時 45 分から午前 11 時 00 分

場所：矢川上公園  
国立市富士見台 4-4

### 訓練の目的：

本年 4 月に発生した熊本地震のように、国立市においても立川断層帯による地震や多摩直下型地震のような大震災の被災が想定されている。そのような震災での減災、自助・共助の向上のため今年度の国立市総合防災訓練では、

①市民及び市職員の防災行動力の向上、②関係機関や協定締結団体との連携体制の強化、の 2 点を目的とし、市内一時集合場所での各種体験訓練や関係機関、協定締結団体をまじえた演習を実施する。

### 訓練想定：

多摩地域において立川断層を震源とする地震が発生。国立市では全域で震度 6 強のゆれを観測した。それにより市内各地で建物の倒壊被害が発生し火災発生危険性がある状況である。

そのような状況を受け市では災害対策本部が設置され、市内防災関係機関（自主防災組織、消防団など）に対して市民の避難誘導、倒壊家屋等からの逃げ遅れ者の救出救助及び火災の発生防止、火災への消火活動が指示された。東京消防庁管内においても都と連携した対策本部が設置され、東京消防庁災害時支援ボランティアにも災害時業務が指示され市内各所で活動をしている状況である。

市内の一時集合場所の矢川上公園では自宅の倒壊危険や、火災から身の安全を確保するために避難する人が集まり、市災害対策本部より避難者の身の安全の確保や炊き出し、けが人への救護活動が指示され実施されている。今後の市内状況や避難者の増減によっては広域避難場所である中央郵政研修センターや指定避難所である国立第二中学校の開設が検討される。

## 訓練内容

### ・市民及び市職員の防災行動力の向上

#### ①初期消火訓練

水消火器により消火器の使用方法を学び、発災時の火災による被害を防ぐ。

#### ②煙体験

煙体験ハウスにより火災時の煙の特性や避難方法を学ぶ。

#### ③住宅火災警報器・家具転倒防止器具の展示広報

各家庭でできる防災の備えとして火災警報器と家具転倒防止器具の設置について広報を行い家具転倒による逃げ遅れ、ケガ等を未然に防ぐ。

#### ④起震車体験

起震車で地震の揺れを体験し、揺れの直後の身の守り方などを学ぶ。

#### ⑤包帯法・AED

三角巾をもちいた包帯法を通じけがなどへの応急処置の手順を習得する。

また、胸骨圧迫や AED など緊急時の救命措置方法を習得する。

#### ⑥アルファ米作成訓練

非常食であるアルファ米の炊き出しを行う。

#### ⑦がれきからの救出体験訓練

がれきの下のだミー人形の救出活動を市民の方に体験してもらう。

ボールやジャッキなどの器具の使い方を教わりながら簡単な救出活動を体験し、機材の扱い方を学ぶ。

#### ⑧広報訓練

災害時の情報伝達手段（防災行政無線、広報車）を用いて市内広報を実施する。

#### ⑨車いす体験訓練

実際に車いすの介助を行っている方から車いすの押し方や段差の乗り越え方など乗っている人に配慮した介助方法を学ぶ

### ・関係機関や協定締結団体との連携体制の強化

#### ⑩協定団体との連携訓練

協定を締結している自治体や事業者から物的もしくは人的支援を受け、実際の支援体制の再確認及び強化を行う。

災害時に窓口となる市の担当課からの連絡調整も訓練として加える。

#### ⑪倒壊家屋からの救出活動（演習）

倒壊家屋からの救出、搬送を実施する。

演習場面：

自主防災組織が富士見台 4 丁目にて倒壊家屋を発見、中に人が取り残されているようで、市内在住の東京消防庁災害時支援ボランティアと協力し 1 人を救出、その

場で応急手当を行い救護所に搬送。

その後同建物奥にもう 1 人の要救助者を発見、屋根部分からの救出が可能であったため近くで活動をしていた国立市消防団がチェーンソーを用いて救助活動を行い、自主防災組織が救護所へと搬送した。

搬送後、同建物から煙が上がり火災の危険性があったため、市内街頭消火器を用いて初期消火にて鎮圧した。

救護所に搬送されたケガ人については、医療機関での処置が必要と判明したため国立市災害対策本部に搬送車両の要請を行った。市災害対策本部からは負傷者等の搬送車両の協定を締結しているシルバーハイツ谷保に対して車両の要請を行い、間もなくして現場に車両が到着、けが人を医療機関へと搬送し活動終了となった。

#### ⑫はしご車搭乗体験

高層での火災等に従事するはしご車への体験搭乗を行う。

#### ⑬展示・体験コーナー

防災関係団体による展示・体験を行う。

- NTT（災害時伝言ダイヤル）
- 東京ガス（マイコンメーターの復旧方法）
- 自衛隊（災害活動写真や車両の展示）
- 立川警察署

会場図 別紙参照

#### 参加予定団体

立川消防署、立川警察署、国立市消防団、二中避難所運営委員会、陸上自衛隊、赤十字奉仕団、東京消防庁災害時支援ボランティア、国立女性防火の会、東京ガス、NTT 東日本、国立市しょうがいしゃ団体等連絡協議会、各種協定団体（葎崎市、シルバーハイツ谷保）、手話通訳者 等

#### スケジュール

- |              |   |
|--------------|---|
| 午前 8 時 40 分  | 参加関係者整列、国立市長より訓練開始報告  |
| 午前 8 時 45 分  | 地震発生（防災行政無線を使用したサイレン吹鳴により訓練開始）<br>※防災行政無線、広報車により地震発生、避難の広報を呼びかける<br>市民の避難開始 |
| 午前 9 時 00 分頃 | 市民が会場に参集見込、各種体験訓練実施   |

午前 10 時 40 分 公園北側にて倒壊家屋からの救出救助訓練（訓練⑩）開始  
午前 10 時 55 分 訓練終了、訓練講評（国立市長、立川消防署長、国立市消防団長）  
午前 11 時 00 分 全終了

その他 訓練の受付は北側と南側に作り、市職員及び近隣自治会員で運営を行う  
訓練のアンケートを実施（次回の訓練の参考にする。）  
会場内には救護所を設置し救急医薬品や AED 等を用意。  
給水所をつくり麦茶を用意。  
関係機関に対し案内状を発送  
防災訓練チラシは市内小中学校に約 4,000 枚配布済  
雨天中止（少雨は決行）